

かりわぎ

40

Vol.

CONTENTS

- 病院長挨拶 ②
- 消化器外科・小児外科 主任教授 就任挨拶 ②
- 緩和医療部長(教授) 就任挨拶 ③
- トピックス ③
- 東京医科大学病院市民公開講座のお知らせ ④
- 第20回 日本がん検診・診断学会総会開催のお知らせ ④
- ご紹介患者の初診時のご予約について ④

東京医科大学病院の理念と基本方針

理 念

人間愛と奉仕の精神に基づいて良質な医療を実践します。

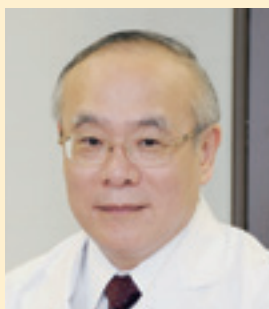
基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します。

1. 患者様を中心に信頼関係を築き、安心して開かれた医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して良質で高度な先進医療を提供します。
3. 人類の福祉と幸せの実現に貢献できる優れた医療人を育成します。



病院長 挨拶



病院長
行岡 哲男

当院の総合相談・支援センターを平成23年8月にオープンしました。それまでの医療連携室・医療福祉相談室・在宅医療支援室・患者相談窓口を統合し、患者さんへのワンストップ・サービスの実施を目指しました。また院内外をつなぐための機能を集約化し、院外の方々との連携・結束を強化する重要な役割を担っています。専属スタッフは31名（医師：1、看護師：4、保健師：4、MSW：8、事務職（調査役・案内等を含む）：14 平成24年5月現在）で、総合相談・支援センターでは毎朝、主なメンバーに、医事課等の職員も加わり、情報共有を行っています。院長の私もこの朝の会議には出席することを基本にしています。

平成24年4月の診療報酬改定では、医療機関の相互連携の推進が大きく打ち出されました。総合相談・支援センターは今後も機能充実を図り、皆様との連携・結束の強化を図りたいと存じます。この小冊子「かしわざ」も従来は“医療連携だより”という副題をもって親しまれてきました。今号より“総合相談・支援センターだより”としましたが、今後ともコンパクトで分かりやすい情報提供を心がけたいと存じます。

消化器外科・小児外科 主任教授 就任挨拶

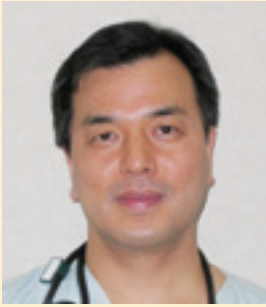


消化器外科・小児外科
主任教授
土田 明彦

4月1日付をもちまして、消化器外科・小児外科の診療科長に就任いたしました。当科では年間約900件の手術を行っておりますが、その半数は内視鏡を用いた低侵襲手術で、患者さんのQOL向上に大きく貢献しています。また、消化器内科と共同で、食道・胃・大腸の早期癌あるいは前癌病変の内視鏡的切除を年間200件以上行っております。さらに、大学病院ならではの最先端医療として、食道癌・大腸癌を中心に、ダ・ヴィンチを用いたロボット支援手術を積極的に行っておりますが、今後は、胃・肝臓・膵臓・胆道などにも応用していく予定です。小児外科に関しましては、15歳未満の消化器疾患、泌尿器疾患を中心とした外科治療を行っております。

「高度な医療を患者さんに優しく提供すること」をモットーとしておりますので、消化器疾患・小児外科疾患でお困りの患者さんがございましたら、是非とも当科にご紹介いただければ幸いです。

緩和医療部長（教授） 就任挨拶



緩和医療部長（教授）

下山 直人

本年4月1日付で、緩和ケア支援室の緩和医療部への昇格に伴い、緩和医療部長（教授）として就任いたしました。日本に緩和ケアを導入した武田文和先生（元埼玉県がんセンター総長）に1987年より緩和ケアのご指導をうけ、1990年には千葉大学にて日本で初めての現在のチームのひな型となる緩和ケアチームを作りました。1995年から2年間、米国スローンケタリングがんセンターで、WHO方式を作ったDr. Foleyに師事し、緩和ケアの研修プログラム、研究指導を受け、それをもって1999年には国立がん研究センターでの緩和ケアチーム設立を行いました。国立がん研究センター時代から、地域医療との連携の重要性を訴え、関東地区の緩和ケア病棟、在宅医療医、大学病院などとの大規模ネットワークを形成する研究会の代表世話人をしております。がん性難治性神経障害性疼痛治療は、私の26年間の緩和ケアにおける基礎研究、臨床研究と臨床にわたってのライフワークですが、呼吸困難、化学療法に伴う苦痛の緩和、ひいてはしゃっくりの治療など、そしてがんの倫理的諸問題に関する臨床経験は日本の中でもトップクラスであると自負しております。

患者さんにはやさしさ、思いやりをもって接し、難しい問題に対しては多くの専門家との同じ目線での連携によって、より質の高い医療を行っていくことが新設の部の目標です。

どうぞよろしくお願いいたします。

トピックス

第4回 西新宿在宅医療連携懇話会（報告）

平成24年3月28日（水）

新宿「ハイアットリージェンシー東京」において、白十字訪問看護ステーション所長 秋山正子さんによる「在宅に繋がる連携の力、ことに訪問看護から見てきたこれからの地域連携」をテーマにご講演いただき、出席いただいた先生方、看護師、ケアマネージャー等、多職種、多数の方々との意見交換、情報交換がおこなわれました。



TOPICS

東京医科大学病院市民公開講座のお知らせ

入場
無料

「職場のメンタルヘルス～最近の話題～」

平成 24 年 6 月 18 日 (月) 17:30 ~ 18:30 メンタルヘルス科 准教授 丸田 敏雅

会場 本館 6F 臨床講堂

「夏の日差しにご注意!～皮膚がんの診断と最新治療～」

平成 24 年 7 月 27 日 (金) 17:30 ~ 18:30 皮膚科 助教 入澤 亮吉

会場 本館 6F 臨床講堂

「ここまで進んだ心臓病の画像診断」

平成 24 年 8 月 10 日 (金) 17:30 ~ 18:30 循環器内科 主任教授 山科 章

会場 本館 6F 臨床講堂

※ 講師及び講演テーマにつきましては変更される事もございますので予めご了承下さい。

第 20 回 日本がん検診・診断学会総会開催のお知らせ

- 会 期：2012 年 7 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日)
- 場 所：東京医科大学病院 本館 6 階 臨床講堂
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
- 会 長：池田 徳彦
東京医科大学 外科学第一講座 主任教授
- 演題募集期間：2012 年 4 月 1 日 (日) ~ 5 月 31 日 (木)
- 大会HP：http://npo.jacdd.org/taikai20/index.html



ご紹介患者の初診時のご予約について

総合相談・支援センターで初診患者さんのご予約の対応を行っております。
ご紹介の際には、医療機関様より医療連携担当にお電話でご相談下さいませ。

※ 初診予約をお取りしていない科もございます。
また患者さんからのお電話での初診のご予約は、原則お取りしておりません。

連絡担当電話番号変更のお知らせ

この度、総合相談・支援センターとして体制を改めたことを機に、医療連携担当への直通電話番号を変更することとなりました。皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。
なお医療連携担当宛の FAX 番号は、これまで通り変更はございません。

総合相談・支援センター 医療連携担当
ダイヤルイン 03 - 5339 - 3808

代表 03-3342-6111 FAX 03-3342-6203 時間 8:30 ~ 16:30 (土 11:30) (休診日を除く)

東京医科大学病院 総合相談・支援センター 東京都新宿区西新宿 6 丁目 7 番 1 号 TEL 03-3342-6111 (代表)
http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/ 発行責任者 岩淵 篤敬

UD FONT より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。